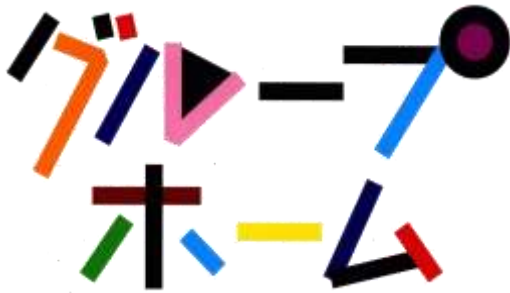


しょうがい ひと えんじょしゃ にほん がっかい
障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会



だい かい にほん がっかい
第19回 日本グループホーム学会

ぜんこく たいかい
オンライン全国大会
かいさいようこう
開催要綱

たいかいかいさいしゅし 【大会開催趣旨】

こんかい たいかい ほんにん いし もと たよう く じつげん
今回の大会では、『本人の意思に基づいた多様な暮らしの実現のために』とい
う大会テーマで行います。へいせいがんねん ほん ちいきせいかつえんじょ
う大会テーマで行います。平成元年に始まったグループホームは「地域生活援助」
という名称でしたが、げんざい きょうどうせいかつえんじょ めいしやう ほんらい きょうどうせいかつ
現在では「共同生活援助」という名称です。本来、「共同生活」
ではなく「ちいきせいかつ」であったグループホームの原点とは、げんてん ほんにん ここのぞ せい
ではなく「地域生活」であったグループホームの原点とは、ご本人個々の望む生
活の実現であり、「ほんにん いし もと たよう くらしがあべき」というしてん
活の実現であり、「本人の意思に基づいた多様な暮らしがあるべき」という視点
にたち、げんざい げんじやう かんが ど かんが ひつやう
にたち、現在のグループホームの現状を考え、もう一度考える必要があるの
ではないか、という思いからプログラムを組みました。ぜひ みな ぜんこくたい
ではないか、という思いからプログラムを組みました。ぜひ、皆さんもこの全国大
会に参加し、ともにかんがえていただければと思います。

かいさいがいよう 【開催概要】

たいかい
大会テーマ：『ほんにん いし もと たよう く じつげん
本人の意思に基づいた多様な暮らしの実現のために』

しゅさい しょうがい ひと えんじょしゃ にほん がっかい
主催：障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会

にっけい どうがはいしんきかん
日程(動画配信期間)：2023年10月16日(月)10:00～11月20日(月)10:00

けいしき げんていこうかい どうがしちやう
形式：限定公開された動画視聴

※インターネットにせつぞくしてどうがしちやうできるパソコンやスマートフォン等の機器が必要
期間中であれば何度でも視聴できます。事前にかいいんごにゅうかいの方はかいいんでのさんか
期間中であれば何度でも視聴できます。事前に会員ご入会の方は会員での参加が可能です。
す。

たいかいさんかひ かいいん えん ひかいいん えん
大会参加費：会員2,000円 非会員3,000円

※ 会員登録をされている方が、会員価格になります。

障害のある当事者・学生1,000円

団体申込 10,000円

(会員、非会員に関わらず、同一法人、同一事業所で何名でも視聴可能)

入居者交流会(対象:グループホーム入居者のみご参加の方は、無料)

参加申込方法:

① 下記の申込みフォームまたはQRコードからお申し込みください。

② 10月13日(金)までに下記の口座に参加費をお振り込みください。

③ お申し込みと振り込みを確認したのち、事務局から動画視聴できるURLをメールでお送りします。なお、個人での申し込みの場合、会員の方は必ず会員登録している方のお名前を明記してお振り込みください。団体申し込みの場合は申込時に記入した団体名、代表者名でお申し込みください。手数料はご負担ください。郵便振替受領書を領収書に代えさせていただきます。

※ 大会開催日の前日(10月15日)になっても視聴URLが届かない場合は、学会事務局までメールでご連絡ください。【事務局メール info@jgh-gakkai.com】

参加申し込みフォーム及び振込先

<https://forms.gle/XZGYBf6BnHRqD7GH6>



振込先(ゆうちょ銀行)	
口座記号・番号	00130-3-463094
加入者名	日本グループホーム学会

ゆうちょ銀行以外の金融機関からお振り込みの場合	
銀行名	ゆうちょ銀行 金融機関コード 9900
店番	019 預金種目:当座
店名	〇一九 店(ゼロイチキユウ店) 口座番号:0463094

〈プログラム1〉

講座1 『グループホームスタッフのための援助のポイント』を使ってみよう

1-1 日本のグループホームのこれまでの30年

室津滋樹(日本グループホーム学会事務局長、NPO法人地域生活センター)

一)

1-2 『グループホームスタッフのための援助のポイント』の活用方法

水戸孝幸(社会福祉法人みんなのひろば)

山口明美(特定非営利活動法人綾瀬あがむの会)

在原理恵(神奈川県立保健福祉大学)

我が国でのグループホームは「共同生活援助」ではなく「地域生活援助」から始まりました。日本のグループホームはこれまでの30年でどのように変化したのでしょうか。我が国は2014年、障害者権利条約に批准、発効し、昨年障害者権利条約の日本の取り組みに対する国連の初めての審査が行われ、9月に総括所見(勧告)が公表されました。前半は、グループホームのこれまでの30年を振り返ります。

後半では当学会が発行した『グループホームスタッフのための援助のポイント』の活用方法について、既に活用している方々からの報告を交えて具体的にお伝えします。

<プログラム2>

講座2 「意思決定支援についてもう少し考えてみよう

—基本の確認からとらえ直しまで—

講師: 名川 勝氏(筑波大学人間系講師)

「意思決定支援」について、基本的なことを含め、深掘りしていきます。7月に行った勉強会についても視聴できるようにしています。合わせて視聴ください。

<プログラム3>

シンポジウム

「自署」できない方の「意思決定」

—ご本人を中心に支援計画は走る、支援者はぐるぐる回る、関所に挑む

相談支援専門員

グループホームサービス管理責任者 他

<プログラム4>

「知的障害のある人への権利侵害がなぜ起き続けるのか」

北海道で起きている権利侵害の問題について障害のある当事者の方に語って

もらいます。

札幌みんなの会

ピープルファースト北海道

北風の会 他

インタビュアー：光増昌久(札幌みんなの会支援者)

〈プログラム5〉

「地域での特色ある多様な暮らし紹介」

全国さまざまな地域で多様な暮らしが実現していることを紹介します。

- ①夫婦・パートナー生活の応援、子育てサポート(社会福祉法人南高愛隣会)
- ②視覚障害のある人のためのグループホーム(株式会社ワンセルフ)
- ③グループホームではない「みんなの家」(社会福祉法人地域(まち)でくらす会)
- ④セーフティネット住宅(福島県いわき市)

〈プログラム6〉

※10月29日(日)13時～15時30分頃 ZOOMで行います

入居者交流会(オンライン交流会/進行：徳島入居者委員会)

全国のみなさんと早く会ってしゃべりたいけど、入居者交流会は、オンライン(ZOOM)でします。

オンライン交流会は、スマホやパソコンで参加できます。オンライン(ZOOM)のやり方がわからない人は、職員やくわしい人に手伝ってもらってください。

全国のなかまと交流したい人、話をしたい人は、ぜひ申し込みをしてください。全国のグループホームからのさんかをおまちしています。

【 学会事務局 】

〒231-0806 横浜市中区本牧町1-120 日本グループホーム学会事務局

E-mail: info@jgh-gakkai.com ファックス: 045-228-7728

ホームページ: <http://www.jgh-gakkai.com>